

第1回 福岡県環境審議会 環境総合ビジョン専門委員会 意見及び意見に対する対応について

各種アンケート調査結果について

委員名	意見	対応
伊藤委員	県として色々なデータを取りながら方向性を決めていってほしい	今後の調査等の結果を踏まえて作成していく
浅野委員 酒井（美）委員	（浅）自然共生や循環について、こども向けのアンケートを作成してみてもどうか （酒）身近な現象を例にとって表現すればこども向けのアンケートも作成できる ※ごみ処理や省エネの満足度が上昇していることについて、酒井委員から30年前に副読本を活用してごみ減量や節電を学んだ世代が40～50代になりこの結果につながったのではないかというコメントを受けた意見	他部で実施しているこども向けアンケートで実施予定
酒井（か）委員	県政モニターの不満足を改善すれば、県民の満足度は上がる ・資源の無駄遣い ・空気の汚染 ・ごみの管理	本文で記載していく予定
佐藤委員	「環境配慮型製品が選べること」については設問を考えた方がよい ※エアコンなどの家電等はすでに全て環境配慮製品に変わってきており、この設問が時代に合っていないという趣旨	設問について検討する
佐藤委員	福岡はコンパクトシティで都会の地域もあるが、自然が身近にあるので、そういった利点をアピールできたらいい	素案作成時に検討

第五次環境総合ビジョンの総括について

委員名	意見	対応
浅野委員長	指標についてはもう一度精査すべき	指標は委託事業とあわせて検討する

第六次環境総合ビジョンの方向性について

委員名	意見	対応
馬奈木委員	環境政策とウェルビーイングを繋げて考えるのは良い。最終的には KPI やウェルビーイングを主観的なアンケートで聞くとかができたら良い	他部で実施しているアンケート調査で実施
浅野委員長	「質の高い営み」に2つ注釈をつけるのはどうか。1つ目：「ウェルビーイング」について取り入れていること、2つ目：「営み」は県民の生活や県内の諸団体の活動を含むもの	素案作成時に記載する
	「地域づくり・人づくり」の方向性について、「自然的地理的社会的条件」という言葉が頻繁に使われるので、「社会的」と入れたら良い	ご指摘通り追記
	（酒井（か）委員のご指摘を踏まえて、）「グリーン化・グリーンイノベーション」のサブタイトルについて、「求められる新たな経済社会システムへの変革」等、事務局で考えること	「求められる新たな経済社会システムへの変革」とする
	「脱炭素社会への移行」の方向性について、国の計画にあわせて、「緩和策」と「適応策」を「一体的に」推進すると記載したほうが良い	ご指摘通り追記

伊藤委員 伊藤委員	「循環型社会の推進」の方向性の「3Rの推進」について、環境省では、「3R+Renewable」を進めているので、入れてもいいのではないか	ご指摘通り追記
	「3Rの推進によって不適正処理の未然防止を図る」には繋がらないので、「最終処分量の抑制」のあとは「及び」とする方が良い	ご指摘通り追記
	国際環境協力の推進のサブタイトルについて、「県内の環境技術」に限定せずに、「県内を中心とした」等の言葉に変えてもいいのではないか	ご指摘通り追記
佐藤委員	「防災・減災を含めた適応策を推進する」について、他のところにも入れてもらえると県民として安心する	・「地域づくり・人づくり」 ・「グリーン化・グリーンイノベーション」 ・「自然共生社会の推進」 に追記

委託調査の調査項目について

委員名	意見	対応
伊藤委員	「環境データの整理・分析」の「循環型社会の推進」で、「最終処分場の残余容量と残余年数」があった方がよい。また、「地域団体や企業の活動調査」の「リサイクル技術開発の動向」で福岡県リサイクル総合研究事業化センターも追加	委託業者に追加依頼済